

三三

南洋廳郵便局通信書記谷信吉外

二名任免件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和九年八月十四日

内閣總理大臣岡田啓介

内閣



裏面白紙

拓第七一七號

起案 昭和九年八月十三日

裁可 昭和九年八月十四日 施行

昭和九年八月十五日

內閣總理大臣了

內閣書記官長

內閣書記官

南洋廳郵便局通信書記谷信吉外二名
任免，件

內閣

拓
七二七

南洋廳郵便局通信書記勲等谷信吉

兼任南洋廳事務官

叙高等官七等

右謹_テ奏ス

昭和九年八月十一日
拓務大臣岡田啓介



拓
務
省

銓衡第二六〇號 南洋廳事務官

谷 信吉

右本人ノ履歷書ニ依リ銓衡候處頭書相
當ノ資格アル者ト認ム

昭和九年八月十日

高等試験委員



内

閣

谷信吉兼任理由

右者今般退官願出候ニ付テハ南洋廳
事務官ニ昇格ノ恩命ニ浴セシメ度ノ處
目下欠員ナキ爲不得已兼任事務官トシ
テ優遇セントスルモノナリ

拓務省

拓 七十八

昭和九年八月十六日發令

南洋廳郵便局通信書記兼南洋廳事務官 谷 信吉

依願免兼官

右謹 于奏ス

昭和九年八月 日

拓務大臣 岡田啓介



拓務省

辭職願

小官儀

病氣ノ為退職致度ニ付御聽許被成下
度別紙診斷書相添へ此段奉願候也

昭和九年八月 日

南洋廳事務官

谷 信 吉

拓務大臣岡田啓介殿

ナル醫書第ニ六號

診断書

南洋廳属 谷 信吉

四十五才

一病名神經衰弱症
右者頭書ノ疾病ニ依リ當分ノ間歸郷静養
ヲ要スルモノト認ム
右診断候也

昭和九年八月三日

南洋廳ヤルト醫院

醫官上妻丈夫

南洋廳

改良美濃牛葉膠紙

裏面白紙

銀行検査官正七位野田卯一

任 大藏事務官

叙高等官六等

右謹テ奏ス

昭和九年八月十日

大藏大臣藤井真信



大
藏
省

判事從五位勳六等中里

龍

任關東廳法院判官

叙高等官三等

右謹テ奏ス

昭和九年八月十一日

關東長官菱刈 隆



關東廳

轉官承諾書

小官儀

關東廳法院判官ニ轉官ノ儀承諾
仕リ候間可然御取計相願度候

昭和九年七月 日

部長判事 中里龍

司法大臣小原直殿



官秘第八三五

昭和九年八月十一日

拓務大臣

岡田啓介



内閣總理大臣岡田啓介殿

一谷信吉兼任件

上奏書

右及進達候也

拓務省

(進達用紙三號)

官秘一八三五號

昭和九年八月十一日

拓務大臣

岡田啓介



内閣總理大臣岡田啓介殿

一谷信吉免兼官ノ件 上奏書

右及進達候也

追テ本件至急御發令相成度

拓務省

(進達用紙三號)

官職第五五一號

昭和九年八月十日

大藏大臣藤井真信



内閣總理大臣岡田啓介殿

一別紙 銀行検査官野田卯一大藏事務官ニ轉官ノ件
右上奏書及進達候也

大藏省

裏面白紙

官秘第一八三八號

昭和九年八月十一日

拓務大臣

岡田啓介



内閣總理大臣岡田啓介殿

中里龍任敘件閣東長官上奏書

右及進達候也

追々本件小司法大臣卜協議済之有之候

拓務省

(進達用紙三枚)